

みなさんのまわりに「なかなか集中することができない」「思い通りにならないとパニックを起こす」「言葉より先に手が出てしまう」など気になる行動が見られるお子さんはいませんか？

先日、当センターで放課後児童クラブや放課後子供教室等の職員を対象に「放課後子ども総合プラン指導者合同研修会②」を開催しました。これは、発達が気になる子どもの理解と支援を学ぶ研修会でした。今回は、その中から盛岡大学短期大学部 幼児教育科 助教 塩谷彩花 氏の講義「発達の気になる子どもと良好な関係を築くためのペアレント・トレーニング」の一部を紹介します。

「ペアレント・トレーニング」とは、障害のある子どもや障害特性のある子どもをもつ保護者、そのような子どもと関わる方たちのためのトレーニングです。子どもの困った行動を修正するのではなく、保育者や保護者が子どもの行動への対応を身につける手法として広がっています。

人の行動は、ほめる、笑顔、「ありがとう」などの『肯定的注目』で強化され、さらに好ましい行動が増え、逆に、注意する、叱る、怒鳴るなどの『否定的注目』によって好ましくない行動が増えるそうです。

そこでまず、対象となる子どもの行動を「好ましい行動」「好ましくない行動」「危険な行動」に分類して書き出します。子どもの具体的行動「～する」という形で書き出します。例えば「自分で服を着る」「椅子に座る」のような形です。

次に「好ましい行動」は基本的に 25%のタイミングでほめ、視線や体の向きを合わせて、明るい表情や声でほめるのが有効であるそうです。「えらいね」ではなく、「服を持ってきたんだね」のように具体的に行動をほめることが大切といます。もちろん年齢や発達段階に応じた言葉や態度で行う必要があるわけです。

すなわち「好ましい行動」→「ほめる」→「またほめられたい」→「ほめられた行動の増加」→「認められ自己肯定感が高まり、行動が身に付く」という好循環をつくることで良好な関係を築くことができるそうです。



受講者のアンケートには「もっと早く知りたかった」「普段の生活や活動に取り入れやすい」

「すべての児童の対応に当てはまると思う」との声が寄せられています。実は、講師の塩谷先生もご自身のご家庭で子育てに活用されてその効果を実感されているそうです。ペアレント・トレーニングは、障害の有無に関わらず、子育てに有効です。

今は、県内外で「ペアレント・トレーニング」の研修会が開催されています。興味のある方は、検索してみるとよいかもかもしれませんね。【Y】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。（アドレス登録又は配信停止はこちらからどうぞ(^_^)

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」（<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>）>「発行物・刊行物」>すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索